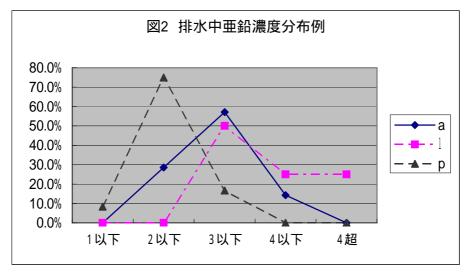
図2に排水中亜鉛濃度分布の例を示す。



鉱山名	1以下	2以下	3以下	4以下	4超
а	0.0%	28.6%	57.1%	14.3%	0.0%
1	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%
р	8.3%	75.0%	16.7%	0.0%	0.0%

3-3.休廃止鉱山排水について

- ・排水中亜鉛は表2および図2に示すように濃度や分布が鉱山により大きく異なったものとなってい ・鉱山周辺は鉱床地帯であり、表2に示すように周辺河川の実態からも自然汚染による寄与も大き く、降水等の自然現象の影響も受けている。(自然汚染、他者汚染率 70%(資源環境センター)) ・山間僻地の狭隘な地域にあり道路、電力等インフラ不十分なところや、国立公園内、史跡指定の ため設備増設には制約を受けるところもある。
- *休廃止鉱山は経済活動は行っておらず、その排水については鉱害防止対策が計画的に実施されているところであり、現行規制の適用の継続を希望する。

以上